

川柳マガジンクラブ東京句会 二月

平成 30 年 11 月 9 日 (日) 駒込学園にて

出席者 22 名

棚瀬くんじ、高田以呂波、石田きみ、加藤品子、関玉枝、

水野絵扇、藤井成子、渡辺まもる、藤原栄子、末田りつ子、横山きのこ、五味田達也、秋山和子、白勢朔太郎、甲野竜雄、山口千枝子、五十嵐淳隆、井手ゆう子、佐道正、

星野睦悟朗、エルヴィス、植竹団扇、

欠席投句 8 名

伊藤三十六、村田倫也、菊地順風、渋川溪舟、丸山芳夫、星出冬馬、石崎流子、松橋帆波

※今回、帆波欠席のため句評会、課題吟共に全作品のコメントの収録が出来ませんでした。課題吟、七分間吟全ての表記は、句箋の儘と致しました。

自由吟 句評会

※各作品の後に、評価された方(◎)、ご意見を述べられた方(△)のお名前を記載しております。

柿の木を植えて実が成るまで生きる 竜雄

◎玉枝、◎まもる

湯に漬けて酒を注ぐと生き返る 団扇

◎睦悟朗、◎りつ子、◎品子、◎達也、◎正、◎淳隆

母さんを信じておんぶされている 千枝子

◎きみ、◎りつ子、◎和子、◎正

粉飾を知ったマウスの背が寒い 淳隆

◎栄子、△くんじ

キッチンをリニューアルして作らない ゆう子

◎絵扇、◎玉枝、◎くんじ、◎朔太郎、◎団扇

マルクスを売りに行ったら嗤われた 冬馬

◎品子、◎エルヴィス

来てみるとちよつとうれしい特別便 正

・ご評価、御意見ありませんでした。

帰省する休暇 届で山にいる 睦悟朗

△朔太郎、△淳隆

突然の目眩昨日が落ちてゆく 流子

◎和子、◎竜雄

どきどきを色々腑分け心電図 くんじ

◎以呂波、◎エルヴィス、◎正

咳ひとつ TPO で使い分け 以呂波

◎きみ、◎品子、◎竜雄

一生を描いた地図は夢のゆめ きみ

◎絵扇

アメリカを恋人にした国が泣き 品子

◎栄子

呼ばれてる漫画佳境へ返事だけ 玉枝

◎達也

逃げるとき以外のそのそ歩く猫 絵扇

◎千枝子、◎睦悟朗、◎達也、◎団扇

昨日今日明日見栄なく夕暮れへ 成子

△正

八分音符のようにゴルフのピンが立ち 芳夫

◎朔太郎、△団扇

明日を見る眼鏡ときどき拭いておく 溪舟

◎きのこ、◎以呂波、◎成子、◎玉枝、◎くんじ

紅引いて今日も男を食べに行く まもる

◎千枝子

顔見知りなかなか名前浮かばない 栄子

・ご評価、御意見ありませんでした。

おせっかいよけいな事をしては悔い りつ子

◎絵扇

昼の月バケツに張った薄氷 きのこ

◎団扇

猫馬鹿だ猫の供養に 5 万円 達也

・ご評価、御意見ありませんでした。

軽トラで畑へ逃げる嫁の鬱 和子

◎栄子、◎きみ、◎きのこ、◎エルヴィス、◎まもる、◎淳隆、◎竜雄

歩いてるうちに永生きしたくなる 三十六

◎千枝子、◎以呂波、◎淳隆

住宅街マネキンひとり捨ててある 順風

・ご評価、御意見ありませんでした。

泣いて済む話さ痛くなんかない 帆波

◎きのこ、◎りつ子、◎成子、◎和子、◎まもる、◎朔太郎

本人は覚えていない自己主張 倫也

◎くんじ

夕食に割引シールなき奢り エルヴィス

・ご評価、御意見ありませんでした。

ムンクの「叫び」病める地球に問うている

朔太郎

◎睦悟朗、◎成子

エントリーは8名の大台。睦悟朗さん、エルヴィスさんが初参加。投句、当日欠席を除く参加者は二十二名。

点数で捕らえると

七点

軽トラで畑へ逃げる嫁の鬱

六点

湯に漬けて酒を注ぐと生き返る

泣いて済む話さ痛くなんかない

五点

キッチンをリニューアルして作らない

明日を見る眼鏡ときどき拭いておく

と激戦。

「八分音符のようにゴルフのピンが立ち」についてゴルフのピンが八分音符に見えたのは素晴らしい感性。しかし直喩ではなく、「グリーンに八分音符が立っている」と暗喩にすれば大成功では。という意見がありました。(団扇)

課題吟「生き様」二人選

五十嵐淳隆選

「佳作」

生き様を拾う昭和史が描ける 品子

高望みせず包丁を研ぎ終える 芳夫

小兵ほど長生きをするシャボン玉 団扇

引き返す勇氣もなくてまだ夫婦 千枝子

踏み台にされて愚直に生きている 三十六

筋を通して負け組みならばそれもよい 流子

七癖を武器に荒野を生き延びる 品子

父の氣に背いて三度道を変え 玉枝

墓石まで酒臭いとは父らしい 帆波

離縁状印は押さない半世紀 りつ子

神様に喧嘩を売っていた蹉跌 帆波

十八歳戦死を刻む墓見入る くんじ

「秀作」

空き瓶を数えて嘘を悔いている 帆波

共食いの果て涼虫は母となり きのこ

「特選」

子沢山戦後を生きた蟻の汗 成子

井手ゆう子選

「佳作」

喜んで貰う喜びしか知らぬ 団扇

未練なし失うものもない軽さ 成子

踏み台にされて愚直に生きている 三十六

酒もやめ進学の道開けた父 成子

神様に喧嘩を売っていた蹉跌 帆波

平凡に生きて地域の顔になり 和子

筋を通して負け組みならばそれもよい 流子

生涯を蜜一匙に賭ける蜂 まもる

共食いの果て涼虫は母となり きのこ

真夜中の保育所を出る母子連れ 淳隆

サル山のボス歴戦の面構え 正

江戸っ子を吹いて古里語れない まもる

「秀作」

蓄財を善意に変えたデスマスク 和子
要職を投げて介護の鬼となる 淳隆

「特選」

好き放題生き孤独死も視野に入れ りつ子

淳隆氏、ゆう子氏による二人選。十五句のうち共通選は四句のみ。両者に別の句を取られた作者三名。「生き様」の解釈を巡り、広辞苑、大辞林、明解国語辞典の対比も。それとは別に選者の解釈の違いもあり、興味津々。もっと突っ込んでよかったか。(団扇)

七分間吟「名前」

出題・選 白勢朔太郎

「佳作」

夫呼ぶニツクネームでよんでみる りつ子
こりすぎて読めない漢字女の子 成子
一字名が父の好みで寿です 睦悟朗
太郎とか首相の名には軽すぎる 竜雄
野良猫に名前つけてと子に言われ 絵扇
名前から年代知れる名付け方 品子
花の名前くり返し聞くカタカナ語 和子
政策は同じ名前が違うだけ 品子
外国語まずは名前の名のり方 きのこ
私の名親にもらったいい名前 千枝子

「秀作」

酒の名はいかにも旨そうに見える 淳隆
カタカナの孫の名前が呼びにくい 千枝子

「特選」

洒落た名を付けて一生ルビが要り 淳隆

品は和子さん。今日は女性陣デーでした。(団扇)

以上。

まとめ 松橋帆波

七分間吟抜句15句中、9句が女性。句評会評価トップ作